

# 紀の川水系 大滝ダムによる効果

○台風20号に伴う豪雨により紀の川上流域では、8月22日から24日にかけて、流域平均の総雨量が394.5mm、時間最大雨量が55mm(大台ヶ原雨量観測所)となり、大滝ダムへの流入量が約2,000m<sup>3</sup>/s(大滝ダム管理開始以降第3位)を記録。

○大滝ダムでは、約1,100万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流の紀の川の水位を五條地点(五條市新町付近)で約1.0m、三谷地点(かつらぎ町三谷付近)では約0.7m低下させる効果があったと推定。

## 位置図

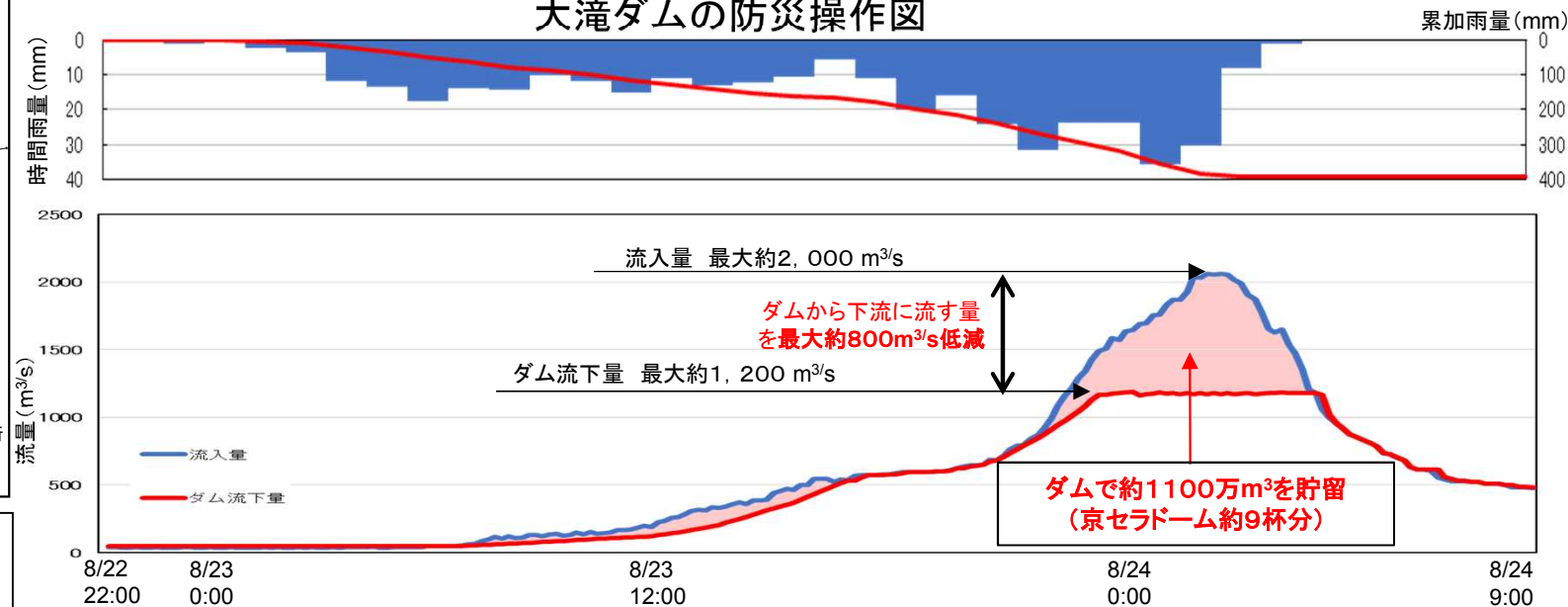


## 三谷地点 航空写真



— 三谷水位観測所 断面位置

## 大滝ダムの防災操作図



## 五條地点(大滝ダムより下流40km地点)



## 三谷地点(大滝ダムより下流60km地点)

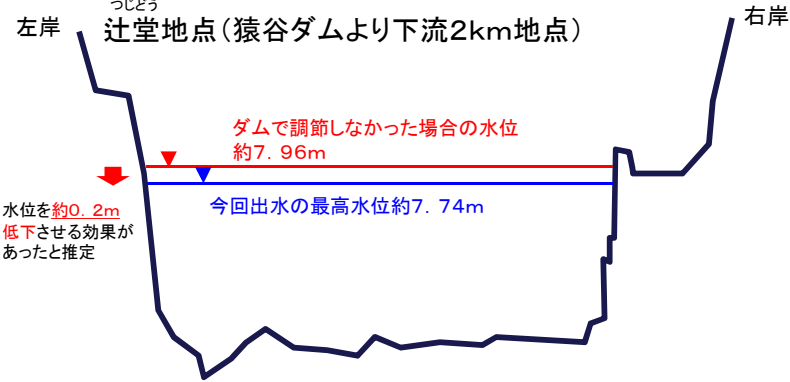


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

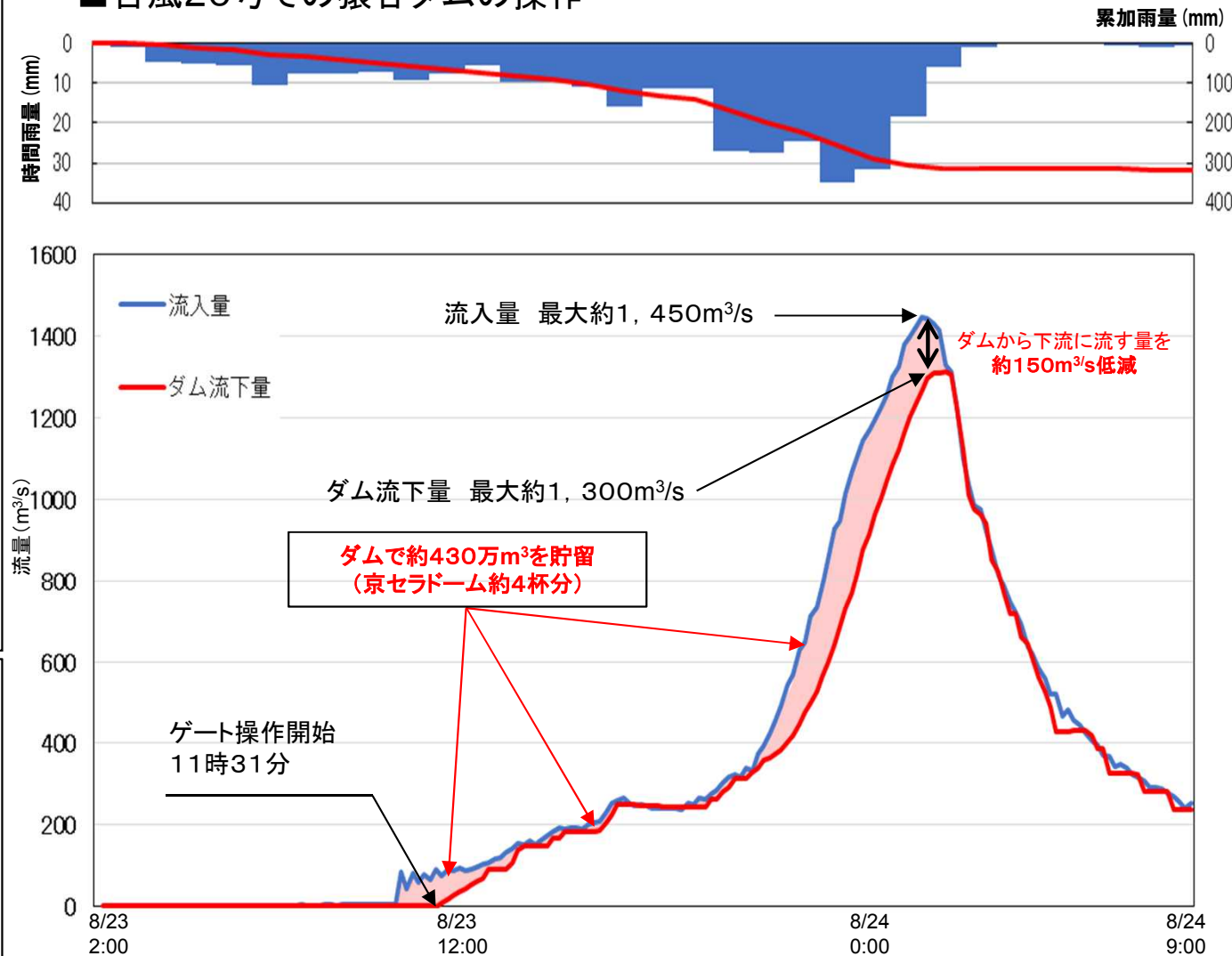
# 新宮川水系 猿谷ダムによる効果

○台風20号に伴う豪雨により新宮川上流域では、8月23日から25日にかけて、**流域平均の総雨量が319.3mm**、**時間最大雨量が46mm**(川迫雨量観測所)となり、猿谷ダムへの**流入量が約1,450m<sup>3</sup>/s**を記録。  
 ○利水ダムである猿谷ダムでは、**約430万m<sup>3</sup>の洪水を貯留**し、ダム下流の辻堂地点(五條市大塔町辻堂付近)で**熊野川(十津川)の水位を約0.2m低下**させる効果があったと推定。

位置図



■台風20号での猿谷ダムの操作



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。